

「船から見る風景 1 0 0 選」前期選考作品
(5 0 選)

「船から見る風景100選」前期50選・最終選考作品

地 区	ビューポイント	事業者名	航 路	応募者名	タイトル
1 北海道	利尻島・利尻山(利尻富士)	東日本海フェリー(株)	稚内～利尻	内田 昭雄	利尻富士
2 "	網走沖の流氷	道東観光開発(株)	ウトロ～知床岬	三原 準造	白い海
3 "	松前半島・大千軒岳	東日本フェリー(株)	函館～青森	小林 滋夫	大千軒岳遠景
4 "	函館港・函館山	共栄運輸(株)	函館～青森	高橋 春子	静寂
5 "	函館港夜景	(株)マルカツ興産	函館港ベイエリア	石沢 智	海の上から見る夜景もいいんでないかい函館
6 "	渡島大島・難波岬	新日本海フェリー(株)	舞鶴～小樽	伊藤 けい子	至福なシャンパン ダイアモンドカクテル
7 東北	八戸港夕景	川崎近海汽船(株)	苫小牧～八戸	岡島 親吾	本船はまもなく到着いたします
8 "	下北半島・仏ヶ浦	佐井定期観光(株)	佐井～牛滝	松林 卓磨	仏ヶ浦の天恩
9 "	気仙沼大島・浦の浜	大島汽船(株)	大島～気仙沼	根芝 一夫	ウミネコの舞う港
10 "	酒田沖・島海山	酒田市	酒田～勝浦	佐々木 勝則	海に浮かぶ島海山
11 関東	八丈島	東海汽船(株)	東京～八丈島	伊東 昭	八丈離島
12 "	父島・二見港	小笠原海運(株)	東京～父島	宰所 操	いつてらっしゃい、ありがとう
13 "	霞ヶ浦	(株)ラクスマリナ	霞ヶ浦～阿見沖	大久保 裕司	帆引きの夕映え
14 "	隅田川	東京都観光汽船(株)	浅草～日の出	秋山 嘉孝	neo tokyo
15 "	横浜港内	京浜フェリーポート(株)	横浜港内	工藤 康雄	横浜港と客船
16 北陸信越	富山新港内・立山連峰	富山県	越の潟～堀岡	中瀬 巖	渡船上から見える立山連峰
17 "	佐渡島・外海府海岸沖	力屋観光汽船(株)	佐渡周遊	木村 喜一	大野亀と航跡と空
18 中部	熱海港・市街	日本海洋観光(株)	伊東～手石島周遊	辻山 委臣	ギュギュッと
19 "	駿河湾・富士山	(株)エスパルスドリームフェリー	清水～土肥	藤本 隆史	富士山を望む
20 近畿・神戸	淡路島・岩屋港付近	明石淡路フェリー(株)	明石～岩屋	中野 豊	出合い
21 "	鳴門海峡	ジョイポート南淡路(株)	福良港起点鳴門観潮周遊	仙波 浩司	うずしお日和
22 "	明石海峡大橋	阪九フェリー(株)	新門司～神戸	湯村 靖夫	明石海峡大橋
23 "	余部鉄橋	遊覧船かすみ丸(有)	香住起点但馬海岸一周	一桐 茂	ローカル線
24 中国	厳島神社	西日本旅客鉄道(株)	宮島口～宮島	千賀 義明	厳島神社
25 "	三原市向田港	(有)三原海陸運輸	土庄～三原	中山 隆博	仏心の瀬戸
26 "	笠岡市・白石島沖	三洋汽船(株)	多度津～佐柳	西原 嘉宣	最終便
27 "	大竹市・阿多田島	(有)阿多田島汽船	阿多田～小方	河野 由紀子	最終の夕陽
28 "	広島港(宇品港)沖	(株)ファーストビーチ	宇品～小用	舩部 優貴	帰るまでの夕日
29 "	出雲市・経島・日御碕灯台	(株)大社海中公園センター	日御崎～追分鼻周遊	金本 匡生	ウミネコの奇岩から日本の灯台を望む
30 "	長門市青海島・夫婦洞	青海島観光汽船(株)	青海島観光	金子 健一	海上写真館
31 四国	来島海峡大橋	協和汽船(株)	今治～下田水	池田 靖	静寂
32 "	四万十川	四万十川観光開発(株)	四万十川周遊	藤田 良寿	四万十の詩
33 "	佐田岬半島沖	宇和島運輸(株)	八幡浜～別府	海地 和代	夕映えの風車半島
34 "	今治市菊間港沖	関西汽船(株)	大阪～別府	川本 宏幸	瀬戸内の夜明け
35 "	高松港沖	国際フェリー(株)	高松～池田	岡田 有功	瀬戸の夕日と赤灯台
36 "	高松市・女木島	雌雄島海運(株)	男木～高松	藤堂 芳則	鬼の見える間に
37 "	松山港(三津浜港)沖・釣島	防予汽船(株)	柳井～三津浜	村上 颯	春の海
38 九州	屋久島宮の浦港	マリックスライン(株)	鹿兒島～屋久島～種子島	外尾 英介	さよなら屋久島
39 "	薩摩川内市甕島・かの子大橋	甕島商船(株)	串木野～甕	原崎 岩雄	かの子大橋
40 "	佐世保市～平戸市・九十九島	させぼパールシー(株)	九十九島遊覧	山下 紘一	風薫る船上
41 "	島原港沖	熊本フェリー(株)	熊本～島原	永村 喜吉	いただき！
42 "	"・普賢岳・平成新山	九商フェリー(株)	熊本～島原	松武 範道	鎮魂！！平成新山
43 "	長崎港口・長崎市神の島	長崎汽船(株)	長崎～伊王島～高島	古田 良嗣	神の島教会
44 "	博多湾百道沖	(株)西鉄シティホテル	博多湾周遊	大内田 小夜	レインボードリーム
45 "	佐世保市宇久島沖・古志岐島	野母商船(株)	福江～博多	宮崎 吉男	日本の端っこ・古志岐灯台
46 "	唐津港沖・唐津城	九州郵船(株)	印通寺～唐津	曾根 満治	まもなく唐津港だ
47 "	長崎県上五島町・若松大橋	五島旅客船(株)	郷ノ首～福江	中村 康代	空への架け橋
48 "	鹿兒島県十島村・宝島前籠港	十島村	鹿兒島～十島～名瀬	吉田 智春	幻の宝の島
49 "	佐多岬沖・開聞岳(薩摩富士)	折田汽船(株)	屋久島～鹿兒島	田中 理絵	薩摩富士
50 沖縄	那覇港内	(有)ウエストマリン	那覇港内遊覧	山内 勤	タイミング



No. 1 『利尻富士』

1. 乗下船場所 利尻島鷺泊港～稚内フェリーターミナル
2. 会社名・船名 東日本海フェリー（株）・フィルイーズ宗谷
3. 撮影ポイント 鷺泊から乗船、出航後約50分、船の後方デッキから撮影
4. 撮影日・時間 2007年8月9日 9:30頃
5. コメント 利尻・礼文3日間ツアーの行程中、最終日に利尻島を離れるときになってようやく天気が回復しました。花を見るにはそれはそれでよかったのですが、やはり利尻富士を眺めないと、とても心残りでした。海上に三角形の島が浮かぶ姿を見たとき天に感謝しました。船から見る風景ならではの趣があります。
6. 撮影者 東京都八王子市 内田 昭雄



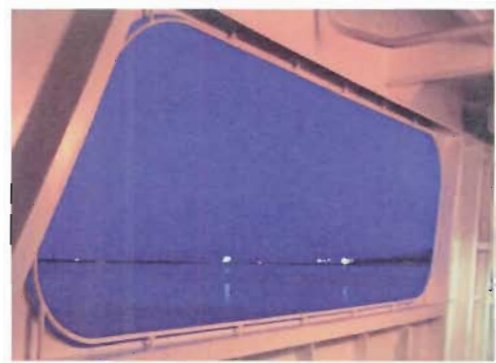
No. 2 『白い海』

1. 乗下船場所 北海道網走港発着
2. 会社名・船名 道東観光開発（株）・流氷砕氷船「おーろら2号」
3. 撮影ポイント 網走沖から知床半島沿いを望む
4. 撮影日・時間 2005年3月10日 11:00頃
5. コメント 北海道旅行の周遊途中で、網走港から流氷観光「おーろら2号」に乗船して出航。一面、真白の世界を走り振り返ると遠方に雪をかぶった斜里岳の勇姿が望め、遠くオホーツク海からやって来た流氷の中をかき分け進む船体は勇ましく最高の気分でクルージングを楽しみました。今回は、残念ながら流氷の上でオジロワシやラッコの姿は見られませんでした。次々と流氷の模様の変化に時間のたつのも忘れ違きの山並みに見とれる一時でした。
6. 撮影者 京都市伏見区 三原 肇造



No. 3 『大千軒岳遠景』

1. 乗下船場所 函館～青森
2. 会社名・船名 東日本フェリー（株）・ほろす
3. 撮影ポイント 北海道松前半島沖
4. 撮影日 2007年8月12日 18:35頃
5. コメント 東日本フェリーの函館～青森航路は、毎夏、秋田帰省時に利用しています。今回の船旅は絶好の晴天に恵まれ、波もなく快適でした。また、夕焼けも美しく良い旅となりました。
6. 撮影者 北海道旭川市 小林 滋夫



No. 4 『静寂』

1. 乗下船場所 函館～青森
2. 会社名・船名 共栄運輸（株）・3号機やぶさ
3. 撮影ポイント 函館山の夜間
4. 撮影日・時間 2007年8月24日 4:35頃
5. コメント 眠りから目覚める前の函館港、遠く函館山、函館どっくもまだ眠りについている。静かなブルーの時間帯、静かに航行する船内にて見る函館もまた格別。
6. 撮影者 北海道函館市 高橋 春子



No. 5 『海の上から見る夜景もいいんでないかい函館』

- | | |
|-----------|---|
| 1. 乗下船場所 | 函館港 |
| 2. 会社名・船名 | (株) マルカツ興産・ブルームーン |
| 3. 撮影ポイント | 函館港ベイエリア |
| 4. 撮影日・時間 | 2006年5月6日 19:30頃 |
| 5. コメント | 観光遊覧船ブルームーンから見た函館・西波止場の夜景です。函館港から函館山の裏側までぐるっと回る1時間のナイトクルーズ。赤レンガの歴史的建造物と近代的な観光施設が、ひとつに解け合って、煌びやかなイルミネーションに包まれ、幻想的な世界を作り出しています。どこかヨーロッパの港町を旅している気分になってくるような。函館山からの夜景が100万ドルの夜景なら、こちらは100万ユーロの輝きかもしれません。 |
| 6. 撮影者 | 札幌市手稲区 石沢 智 |



No. 6 『至福なシャンパン ダイアモンドカクテル』

- | | |
|-----------|--|
| 1. 乗下船場所 | 小樽港～新潟港 |
| 2. 会社名・船名 | 新日本海フェリー(株)・ゆうかり |
| 3. 撮影ポイント | 大島灘波岬沖 渡島大島 |
| 4. 撮影日 | 2007年6月2日 19:00頃 |
| 5. コメント | 夫婦での初めての船旅は天候にも恵まれ、おだやかな航海は至福の時間。夕食後のサンセットをお部屋付のデッキで夢中に撮影。大山のくぼみに太陽が…言葉にならない美しさだ。太陽がついに落ちると、食事をしたグリルに主人を残してきた事を思い出した。グリルに戻ると主人はツアーで一緒した92オのご婦人や他のご夫婦と楽しそうに話していた。グリルに大好きなシャンパンはなかったので家に帰ったら、写真を見ながら乾杯しよう。 |
| 6. 撮影者 | 東京都江戸川区 伊藤けい子 |



No. 7 『本船は間もなく到着いたします』

- | | |
|-----------|--|
| 1. 乗下船場所 | 苫小牧発 → 八戸行き |
| 2. 会社名・船名 | 川崎近海汽船(株)・ベガ |
| 3. 撮影ポイント | 八戸港 防波堤 |
| 4. 撮影日・時間 | 2007年8月21日 18:03頃 |
| 5. コメント | 苫小牧を出港して8時間ほど過ぎただろうか、ようやく本州に帰ってきた。下船の準備を整えてデッキへ出してみると鮮やかな夕日が迎えてくれた。間もなく到着、この夕日に「ただいま」とわたくしは言う。 |
| 6. 住所 | 岩手県北上市 岡島 親吾 |



No. 8 『仏ヶ浦の天恩』

- | | |
|-----------|---|
| 1. 乗下船場所 | 仏ヶ浦港 |
| 2. 会社名・船名 | 佐井定期観光(株)・サイライト号 |
| 3. 撮影ポイント | 仏ヶ浦 |
| 4. 撮影日・時間 | 2006年10月31日 14:05頃 |
| 5. コメント | 地元下北郡佐井村佐井港から仏ヶ浦まで1時間半のコース、2006年10月31日今シーズン最終日、仏ヶ浦は2kmに続く断崖、クルージングは爽快、船長さんに一言「また来年お願いします」「卓磨また来いよ」船員の皆さん有り難うございました。「神のわざ鬼の手作り仏宇陀人の世ならぬ処なりけり」砂浜沿いに大町桂月さんの歌碑があります。全国の障害をもった友達、佐井によろこ！小生頑張ります。 |
| 6. 撮影者 | 青森県下北郡 松林 卓磨 |



No. 9 『ウミネコの舞う港』

1. 乗下船場所 気仙沼大島 浦の浜
2. 会社名・船名 大島汽船(株)・海来
3. 撮影ポイント 浦の浜港
4. 撮影日・時間 2007年7月28日 15:00頃
5. コメント 平成19年の7月下旬、気仙沼大島の浦の浜から大島汽船の客船に乗った。出航直後から、ウミネコが船のデッキの後ろからついてくる。客の手からポテトチップ等のお菓子をもらえることを知っているようである。客の手から上手に菓子をくわえて飛び去っていく。初めて見る光景で面白かった。ウミネコが舞う後ろには、浦の浜の港が見える。静かな落ち着いた雰囲気の中で周りに浮かんでいる養殖のイカダも印象的だった。
6. 撮影者 茨城県古河市 根芝 一夫



No. 10 『海に浮かぶ鳥海山』

1. 乗下船場所 酒田港
2. 会社名・船名 酒田市定期航路事業所・ニューとびしま
3. 撮影ポイント 酒田沖
4. 撮影日・時間 2007年6月10日 16:30頃
5. コメント 酒田港より北西3.9kmの飛島に向かう定期船ニューとびしまより鳥海山を望む。海上に浮かぶ鳥海山は船からではないと見られない。陸上で見る鳥海山とは一味違って神々しさを感じる。鳥海山の噴火で出来たと云われる飛島までは一時間半の船旅。島が近づくに順じて小さくなっていく。
6. 撮影者 山形県酒田市 佐々木 勝則



No. 11 『八丈離島』

1. 乗下船場所 八丈島・底土港から乗船
2. 会社名・船名 東海汽船(株)・さるび丸
3. 撮影ポイント 八丈島、底土港出航後に八丈島を望んで
4. 撮影日・時間 2007年1月2日 10:20頃
5. コメント 周囲を外洋に囲まれたこの島では、空模様はいつも唐突に移り変わるような気がする。朝方、雨が降っていたかと思うと日が差し始め、船が出港する段になって再び雲が覆ってきた。八丈島を離れる。午前中だというのに空はまるで夕暮れのような色をしている。少し暗い空を背景にくっきりと浮かぶ島の姿を見送りながら、初めて見たときと同じ、やはりとても美しい島だな、と、そう思うのだった。
6. 撮影者 名古屋市中川区 伊東 昭



No. 12 『いってらっしゃい、ありがとう』

1. 乗下船場所 小笠原父島、二見港
2. 会社名・船名 小笠原海運(株)・おがさわら丸
3. 撮影ポイント 二見港内
4. 撮影日・時間 2007年3月31日 14:20頃
5. コメント 年度代わりのこの時期、内地に赴任就職する人や、観光後帰る人が思い一杯を乗せおがさわら丸は父島を出港しますが、島のボートが見送りの並走をしてくれます。ボート上からのダイビング見送りと、ザトウクジラも見れ感激でした。もう一度、小笠原に行きたい。
6. 撮影者 岡山県浅口市 室所 操



No. 1 3 『帆引きの夕映え』

1. 乗下船場所 土浦港
2. 会社名・船名 (株) ラクスマリーナ・ホワイトアイリス号
3. 撮影ポイント 霞ヶ浦沖合
4. 撮影日・時間 2006年10月12日 16:00頃
5. コメント 夏季の金・土・日は霞ヶ浦に観光用の帆引き船が出て、昔の漁の姿を忍ばせています。土浦港発の遊覧船から姿を見ることが出来ます。夏と秋には合同操船が行われ、夕映えの帆引きの姿を見ることが出来ます。何度か遊覧船に乗船していますが、風がなかったり、曇っていたりでなかなか良い写真がとれませんでした。10月のこの日はそよ風と素晴らしい東国の夕日に恵まれ、夕映えの中の帆引き船を撮ることが出来ました。
6. 撮影者 茨城県土浦市 大久保 裕司



No. 1 4 『neo Tokyo』

1. 乗下船場所 日の出桟橋
2. 会社名・船名 東京都観光汽船(株)(隅田川ライン)・マイタウン
3. 撮影ポイント 永代橋付近
4. 撮影日・時間 2006年3月28日 15:30頃
5. コメント 船の旅に慣れた僕でも、この新鮮な風景には感動した。ひとり歩きた都心の画。都会も息を抜ける場所はあるんだね。
6. 撮影者 沖縄県那覇市 秋山 嘉孝



No. 1 5 『横浜港と客船』

1. 乗下船場所 横浜港内 大さん橋 ふ頭ビル乗下船
2. 会社名・船名 京浜フェリーボート(株)・ゆめはま
3. 撮影ポイント 横浜港内
4. 撮影日・時間 2007年3月20日 11:21頃
5. コメント 横浜港には年に数回外国客船が入港します。その中でも外国客船オーロラが来たときは、大変良い天気でした。横浜港内はもちろんのこと客船、富士山まで見ることが出来て大変すばらしい風景でした。横浜港内の湾内船は客船が来るとよりおすすめです。
6. 撮影者 横浜市旭区 工藤 康雄



No. 1 6 『渡船上から見える立山連峰』

1. 乗下船場所 富山新港、新湊側乗船
2. 会社名・船名 富山県営・このかた
3. 撮影ポイント 新湊側発堀岡間航行中
4. 撮影日 2007年5月中旬 15:00頃
5. コメント 何時も渡船を利用しています。天候の良い晴れの日に見える立山連峰、雄大さに感激します。左の船は富山商船高等専門学校の練習船若潮丸です。県営渡船は、新湊～堀岡間を運航しています。チャンスがあったらすごい景色が見れます。是非一度来て下さい。
6. 撮影者 富山県射水市 中瀬 茂



No. 17 『大野亀と航跡と空』

1. 乗下船場所 高千漁港～鷺崎漁港（外海府クルーズ）
2. 会社名・船名 力屋観光汽船（株）・ハナフサ8
3. 撮影ポイント 願集落沖
4. 撮影日 2007年6月17日 12:35頃
5. コメント 遠くに、日本三大巨岩の一つ、海拔167mの大野亀と二本針が見えます。大野亀は、外海府海岸のシンボルで頂上には龍神様を祀っており、海の守り神となっております。高速観光船がスピードを上げて進むと、空の雲まで航跡と対比するように見えました。このような遠近のある風景にめったに出会うことはありません。佐渡の雄大な景色を見て、ガイドの案内を聞いて、「ドキめき感動」のクルーズでした。
7. 撮影者 新潟県佐渡市 木村 喜一



No. 18 『ギュギュっと』

1. 乗下船場所 熱海港
2. 会社名・船名 日本海洋観光（株）・ゆーみんアルファ
3. 撮影ポイント 熱海港
4. 撮影日 2007年1月27日 14:30頃
5. コメント 山を背に旅館とホテルがギッシリ詰まった湯の町アタミ！温泉街の実力が感じられますね。
6. 撮影者 静岡県田方郡 辻山 委臣



No. 19 『富士山を望む』

1. 乗下船場所 清水港～土肥港
2. 会社名・船名 (株) エスパルスドリームフェリー・駿河
3. 撮影ポイント 駿河湾
4. 撮影日・時間 2006年10月7日 12:30頃
5. コメント 土肥から出港してきた同じ航路のフェリー富士と竹笛を交わし、すれ違う。向うには壮大な富士山が。
6. 撮影者 三重県鳥羽市 藤本 隆史



No. 20 『出会い』

1. 乗下船場所 明石港～岩屋港
2. 会社名・船名 明石淡路フェリー（株）（たこフェリー）・あさしお丸
3. 撮影ポイント 淡路島 岩屋港付近
4. 撮影日・時間 2007年3月16日 11:00頃
5. コメント 3月中旬頃は、いかなご漁の漁船が淡路島の岩屋港からたくさん出漁していて、それを目当てに多くのカモメたちが飛び交い、たこフェリーの船上から、岩屋港から明石港へ向かうたこフェリーとの出会いを撮影しました。
6. 撮影者 京都市上京区 中野 悠



No. 2 1 『うずしお日和』

1. 乗下船場所 福良港
2. 会社名・船名 ジョイボート南波路(株)・威臨丸
3. 撮影ポイント 鳴門海峡
4. 撮影日・時間 2006年7月27日 13:00頃
5. コメント 家族で淡路島へ行ったときのスナップです。子供たちにとって大きな船に乗るのは初めてで、最初は不安そうでしたが、青い空に白い雲、エメラルドグリーンの海を見つめながら風に吹かれると気持ち良さそうにはしゃぎ始めました。うずしおが見え始めると「あれ見て、すごい。」の連発。そして大鳴門橋を背景にうずしおをバチリ。家族みんなで「また、来たいね」と言って船を降りました。
6. 撮影者 広島県呉市 仙波 浩司



No. 2 2 『明石海峡大橋』

1. 乗下船場所 新門司〜神戸
2. 会社名・船名 阪九フェリー(株)・フェリーすおう
3. 撮影ポイント 明石海峡大橋の夜明
4. 撮影日 2004年6月15日 5:18頃
5. コメント 九州から神戸へ向かうフェリーは、朝早く明石海峡大橋の下を通ります。晴れた日は大橋から昇る朝日を見ることができ、旅の楽しさがまた一つ増えます。また、大橋の下を通る漁船も朝日に向かって出航しているかのように思えます。フェリーの旅はのんびり楽しいですネ！
6. 撮影者 福岡県久留米市 湯村 靖夫



No. 2 3 『ローカル線』

1. 乗下船場所 香住港
2. 会社名・船名 遊覧船かすみ丸(有)・第18かすみ丸
3. 撮影ポイント 余部鉄橋海側沖合
4. 撮影日・時間 2007年5月16日 15:30頃
5. コメント 余部鉄橋の写真は、カメラ雑誌等でよく見るのですが、そのほとんどが山側から海に向かっての写真なので、逆に海側から山に向かって、撮影したいと思っていました。今回チャンスがあったので遊覧船から撮影しました。
自分のイメージどおりに、鉄橋の全景が撮影できて大変気に入っています。鉄道・カメラファンお薦めのアングルです。
6. 撮影者 奈良県奈良市 一瀬 茂



No. 2 4 『厳島神社』

1. 乗下船場所 廿日市市宮島口
2. 会社名・船名 西日本旅客鉄道(株)・みせん丸
3. 撮影ポイント 厳島神社沖通過時
4. 撮影日・時間 2007年5月25日 18:18頃
5. コメント JR西日本の厳島神社沖経由のフェリーが左にカーブを切ると満潮を迎えた社、太島居が落日の陽射しを浴びて輝いていて、遙かなる昔からこの目にしている一帯だけでもどれだけのドラマがあったであろう！と思いをめぐらせているうちに宮島橋に着岸した。
6. 撮影者 広島県廿日市市 千賀 義明



No. 25 『仏心の瀬戸』

1. 乗下船場所 鷺浦向田港
2. 会社名・船名 (有) 三原海陸運輸・幸運丸
3. 撮影ポイント 鷺浦向田港付近
4. 撮影日 2007年4月8日 12:30頃
5. コメント 三原市鷺浦町向田港近くでフェリーから見ると岩石などで作り上げた物だと思いシャッターを切った一枚の写真です。また、この島で有名な千本桜が咲く場所もあり、その桜のすばらしさを感じたのもその一つでもあります。初めて来て見てこうしたすばらしい島が瀬戸内海にあることを知りました。カメラマンはもちろんのこと。持たない方も桜の咲く季節には向田のすばらしい静かな島にこられて見て下さい。
6. 撮影者 広島県三原市 中山 隆博



No. 26 『最終便』

1. 乗下船場所 笠岡港～各島
2. 会社名・船名 三洋汽船(株)・ぶりんす
3. 撮影ポイント 高島～白石島間
4. 撮影日・時間 2007年8月10日 18:20頃
5. コメント 仕事を終えて帰宅中、この船の蹴り波と暮れゆく瀬戸内の海を眺め1日の終りを感じる。自然は季節や天候により、さまざまな風景をみせてくれる。
6. 撮影者 岡山県笠岡市 西原 嘉宣



No. 27 『最後の夕陽』

1. 乗下船場所 阿多田港
2. 会社名・船名 (有) 阿多田島汽船・涼風
3. 撮影ポイント 阿多田島
4. 撮影日・時間 2007年3月29日 18:00頃
5. コメント 週に一度、私は島の子供達に書道を教える為、大竹から船で35分の「阿多田島」に通っていた。出産で仕事をやめる事になり、この写真は最後の最終日に撮ったものである。船から見える景色の中で、私が最も好きだったのがこの夕陽だ。朝からくもり空だったにもかかわらず、最後の最後で何とか顔を現してくれた夕陽。まるで「お疲れ様」と言ってくれたかのようだった。
6. 撮影者 広島県太田市 河野 由紀子



No. 28 『帰るまでの夕日』

1. 乗下船場所 広島港(宇品港)～切串港
2. 会社名・船名 (株) ファーストビーズ・入船
3. 撮影ポイント 広島港(宇品港)～切串港(江田島) 宇品港を出て5分位
4. 撮影日・時間 2007年8月27日 19:05頃
5. コメント 私の学校は広島市内にあり、実家は瀬戸内海に浮かぶ江田島です。毎日、フェリーに揺られながら通っています。なぜか皆は「太寛だね」と声をかけますが、私はそう思ったことはありません。フェリーは思っている以上に快適なのです。クーラーも効いておりテレビもあります。そしてなにより外の景色が最高です。飽きることがありません。この、私の撮った写真は特別ではありません。いつものキレイな風景を切りとっただけです。
6. 撮影者 広島県江田島市 舛部 優貴



No.29 『ウミネコ島の奇岩から日本一の灯台を望む』

1. 乗下船場所 島根県大社町 日御碕港
2. 会社名・船名 (株) 大社海中公園センター・第1 うみねこ
3. 撮影ポイント 経島(ふみしま)
4. 撮影日・時間 2007年7月30日 16:30頃
5. コメント ウミネコの繁殖地・経島を、グラスボートがぐるりと廻る。島の裏側には、波の浸食によるものだろうか、港からは見ることの出来ない奇岩が連なっている。その間から見えるは、日本一の高さを誇る日御碕灯台。岩に弾ける日本海の荒波が、青一色の景色に白い花を咲かせている。ふと上を見上げると、トンビがぐるりと輪を描いていた。まさに船からしか見ることの出来ない、絶景に出会った。
6. 撮影者 愛知県岡崎市 金本 匡生(かねもと くにお)



No.30 『海上写真館』

1. 乗下船場所 山口県仙崎港
2. 会社名・船名 青海島観光汽船(株)・ピンクシートス
3. 撮影ポイント 夫婦洞
4. 撮影日 2007年8月4日 14:00頃
5. コメント 40数年ぶりに、青海島の海上アルプスを観光船で遊覧し、以前無かった日本海に面した岩場に海上写真屋さんが商売たくましく営業していました。急病になったり、波が荒くなった場合どうするのか。人ごとながら気になりました。
6. 撮影者 山口県周南市 金子 健一



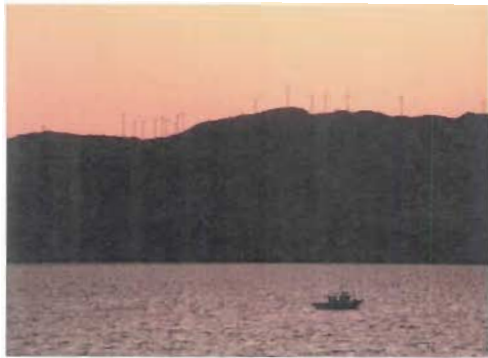
No.31 『静寂』

1. 乗下船場所 今治港、大島行きフェリーのり場
2. 会社名・船名 協和汽船(株)・第12 おおしま
3. 撮影ポイント 大島、下田水港沖
4. 撮影日・時間 2004年5月7日 6:50頃
5. コメント 朝日を浴びて映える世界一の3連吊橋です。ライトグレーの来島海峡大橋は青い空と海に輝いています。日本3大急潮流の一つであると思えない静かな朝の海峡です。朝日、夕日でいろいろな表情を見せてくれます。来島海峡はカメラマンの撮影スポットです。船上から写すチャンスは少なく、湖のような情景に出会うことが出来、写した1枚です。
6. 撮影者 愛媛県今治市 池田 靖



No.32 『四万十の詩』

1. 乗下船場所 四万十市山路
2. 会社名・船名 四万十川観光開発(株)・第8四万十丸
3. 撮影ポイント 四万十大橋付近
4. 撮影日・時間 2007年4月22日 13:00頃
5. コメント 四万十川は高知県西部を流れる一級河川。四国第一の長さの川で本流に大規模なダムが建設されていないことから「日本最後の清流」と呼ばれています。また、水質も良く日本有数の清流で、四万十特有の漁法がおこなわれ、川魚だけで生計を立てている人々がいます。この投網魚は「土佐打ち」というダイナミックな打ち方が特徴です。
6. 撮影者 香川県三豊市 藤田 良寿



No.33 『夕映えの風車半島』

1. 乗下船場所 別府港～八幡浜
2. 会社名・船名 宇和島運輸 (株)・えひめ
3. 撮影ポイント 八幡浜沖 佐田岬半島
4. 撮影日・時間 2007年5月11日 18:30頃
5. コメント 往路に見た風車が夕日に浮かび上がる時を待った。静かな海に一隻の船が通った時、シャッターを切った。エコに取り組む人達が建てたたくさんの風車がすてきな風景を造ってくれたことに感謝しました。
6. 撮影者 高知県土佐市 海地 和代



No.34 『瀬戸内の夜明け』

1. 乗下船場所 大阪南港～松山観光港
2. 会社名・船名 関西汽船 (株)・きんふらわあいぼり
3. 撮影ポイント 愛媛県菊間沖
4. 撮影日・時間 2006年3月31日 5:30頃
5. コメント 外はとても寒かったのですが、空気が澄んでいてとてもきれいでした。
6. 撮影者 広島県安芸郡 川本 宏幸



No.35 『瀬戸の夕日と赤灯台』

1. 乗下船場所 小豆島池田港発 高松港着
2. 会社名・船名 国際フェリー (株)・第1こくさい丸
3. 撮影ポイント 高松港到着前 サンポート赤灯台方面
4. 撮影日・時間 2008年8月10日 19:00頃
5. コメント いつも小豆島の実家に帰るときにこのフェリーに子供と一緒に乗って帰っています。この写真を撮ったときは子供はまだ幼稚園児でしたがもう小学4年生になります。高松港に着く前のこの景色は今でも変わりません。このときは夕日がきれいだったので撮ってみました。
6. 撮影者 香川県高松市 岡田 有功



No.36 『鬼の见ている間に』

1. 乗下船場所 高松港→女木港
2. 会社名・船名 雌雄島海運 (株)・めおん2
3. 撮影ポイント 女木港への入港寸前
4. 撮影日・時間 2005年6月5日 12:15頃
5. コメント 女木島 (通称、鬼ヶ島) への入港を見守ってくれるのは、優しい鬼さんでした。どことなくユーモラスな表情で迎えてくれるので、とても安心できます。しかも、金棒は入港を手助けするミニ灯台の役割も果たしているそうです。鬼ヶ島と言われた女木島は、優しい鬼が住むパラダイスです。みなさんも、ぜひ一度、訪れてみてください。
6. 撮影者 香川県高松市 藤堂 芳則



No. 37 『春の海』

1. 乗下船場所 松山三津浜港～山口柳井港
2. 会社名・船名 防予汽船(株)・おれんじまーきゅりー
3. 撮影ポイント 小瀬戸沖釣島
4. 撮影日・時間 2007年5月20日 11:00頃
5. コメント 三津浜港からフェリーに乗り航行小瀬戸沖釣島に漁船群です。海はおだやか釣場でしょう。フェリー船上から光景で遠くなるまで眺めました。
6. 撮影者 愛媛県西条市 村上 誠(たかし)



No. 38 『さようなら屋久島』

1. 乗下船場所 鹿児島新港
2. 会社名・船名 マリックスライン(株)・クイーンコーラル
3. 撮影ポイント 屋久島宮の浦港
4. 撮影日・時間 2007年5月4日 11:00頃
5. コメント さようなら屋久島 手を振ってる、島のガイドさん達。
6. 撮影者 北九州市門司区 外尾 英介



No. 39 『かの子大橋』

1. 乗下船場所 鹿児島県串木野新港、甌島
2. 会社名・船名 甌島商船(株)・フェリーニューこしき
3. 撮影ポイント 上甌島 中甌港
4. 撮影日・時間 2004年8月 13:00頃
5. コメント 鹿児島県甌島列島の上甌島と中甌島を結ぶ「かの子大橋」、平成2年に完成した全長2410mのアーチ橋。船上から見るシルエットの橋が美しい。
6. 撮影者 鹿児島県薩摩川内市 原崎 岩雄



No. 40 『風薫る船上』

1. 乗下船場所 九十九島遊覧船乗り場
2. 会社名・船名 さげぼパール・シー(株)・パールクイーン
3. 撮影ポイント パールクイーン最上段デッキより
4. 撮影日・時間 2007年3月25日 10:00頃
5. コメント 家族で九十九島の遊覧船で島巡りをするのが実現した。孫3歳が初めての帆船ですごく喜んでくれた。船の中やデッキで走り回って船上のお客さんにも愛嬌をふりまいていた。最後に船のマストの最上段に昇った。怖がるかと思ったが、らせん階段も苦もなく昇りきった。キャブランチの気分が島々を望んで気分爽快。ここから見る風景は圧感だった。今度来る時は赤い船に乗りたいとはしゃいでいた。心に残る家族旅行だった。
6. 撮影者 佐賀県佐賀市 山下 統一



No.4 1 『いただき！』

1. 乗下船場所 熊本港～島原港
2. 会社名・船名 熊本フェリー（株）・オーシャンアロー
3. 撮影ポイント 島原港出港時
4. 撮影日 2005年1月1日 12:10頃
5. コメント 冬の熊本港と島原港を結ぶ航路では、カモメの送迎があります。冬の甲板はとても寒いんですが、カモメとたわむれる時間のおかげで、あっという間に目的地に着いてしまいます。とても楽しいひとときです。カモメは意外と大きな鳥ですが、とてもかっぱえびせんが好きようです。乗客が差し出すかっぱえびせんに突進してきます。私の写真は島原港を出港直後のカモメの写真です。カモメさん、楽しませてくれてありがとうございます！
6. 撮影者 熊本県熊本市 永村 喜吉



No.4 2 『鎮魂！！ 平成新山』

1. 乗下船場所 島原港～熊本港
2. 会社名・船名 九商フェリー（株）・フェリーくまもと
3. 撮影ポイント 島原港沖
4. 撮影日 2007年4月4日 11:20頃
5. コメント 1991年雲仙・普賢岳の大火災流で43名の犠牲を出し、次いで土石流で住宅・農地に甚大な被害をもたらした。水無川上流・上木場地区には今もその当時の姿をとどめている。しかし、島原港外からの眺めは当時の惨禍は感じられない。今は静かに普賢岳と平成新山の姿を島原湾に映している。多くの犠牲者の魂を慰めるかのように、白いカモメが飛び交っている。
6. 撮影者 長崎県諫早市 松武 範道



No.4 3 『神の島教会』

1. 乗下船場所 長崎港
2. 会社名・船名 長崎汽船（株）・コバルトクイーン
3. 撮影ポイント 長崎港口神の島
4. 撮影日・時間 2007年5月12日 10:00頃
5. コメント 長崎では、市内をたくさんのコースに分けて、市民や観光客が町歩きを楽しむ長崎さるくが開催されています。フェリーやクルーズ船で長崎港の島々を巡るコースも設定されており、現在では無人になった炭鉱の島、軍艦島を見る事もできます。港口には教会をバックにして船舶の安全を祈るマリア像も立っており、長崎らしい風景です。
6. 撮影者 長崎県長崎市 古田 良嗣



No.4 4 『レインボードリーム』

1. 乗下船場所 博多港 ベイサイドプレイス
2. 会社名・船名 (株)西鉄シティホテル・マリエラ
3. 撮影ポイント 博多湾百道沖
4. 撮影日・時間 2007年8月22日 17:00頃
5. コメント 家族でクルーズ船に乗ったとき、携帯で撮った写真です。
6. 撮影者 福岡市早良区 大内田 小夜



No. 4 5 『日本の端っこ・古志岐灯台』

1. 乗下船場所 宇久平港（五島列島）
2. 会社名・船名 野母商船（株）・太古
3. 撮影ポイント 宇久島沖
4. 撮影日・時間 2007年8月21日 14:30頃
5. コメント 佐世保市宇久島の東方沖約3kmに浮かぶ奇岩「古志岐島」。そそり立つ段崖の頂上に白亜の灯台が眩しく輝いていました。福岡行、フェリー・太古のルートからも近く、比較的に撮り易い距離でした。
6. 撮影者 長崎県佐世保市 宮崎 吉男



No. 4 6 『まもなく唐津港だ』

1. 乗下船場所 印通寺港～唐津港
2. 会社名・船名 九州郵船（株）・エメラルドからつ
3. 撮影ポイント 城のある島
4. 撮影日・時間 2007年8月25日 17:10頃
5. コメント 対馬・壱岐旅行中（3日間）3日目は雲が多く船上から城が遠くに望める風景と島々に見える街並みが、船上ならでしか望めない。雲も夏らしさを表している。気に入った風景であった。
6. 撮影者 東京都大田区 曾根 満治



No. 4 7 『空への架け橋』

1. 乗下船場所 若松港（長崎県）～奈留港（長崎県五島市）
2. 会社名・船名 五島旅客船（株）・フェリーオーシャン
3. 撮影ポイント 若松太橋下通過時
4. 撮影日・時間 2007年8月16日 10:40頃
5. コメント 橋の下を通過するのは船だけの特権。特に青空を背景に白い橋を見上げるのは最高の贅沢。島と島をつないでいる橋だけど、こうして見ると青空まで行けそう。この日はお盆休みを終えて、仕事のため帰島している最中。「明日から仕事かぁ～」という暗い気持ちも吹っ飛びました。
6. 撮影者 長崎県五島市 中村 康代



No. 4 8 『幻の宝の島』

1. 乗下船場所 鹿児島県 十島村 前龍港
2. 会社名・船名 十島村営・フェリーとしま
3. 撮影ポイント 宝島 出港時
4. 撮影日・時間 2007年8月26日 12:10頃
5. コメント トカラ列島の最南端に位置する宝島。その島の名前を見るだけでも誰もがワクワクしそうな島。そんな宝島へはじめて来ました。晴れた空、どこまでも澄んだブルーの海、何もかもが夢心地のような気分。させてくれる港の壁面。ここは南洋の海上に浮かぶ夢の島なのかもしれない・・・
6. 撮影者 大阪府大東市 吉田 智春



No. 4 9

『薩摩富士』

1. 乗下船場所
2. 会社名・船名
3. 撮影ポイント
4. 撮影日・時間
5. コメント

宮之浦（屋久島）港～鹿児島港
折田汽船（株）・フェリー屋久島2
鹿児島県佐多岬沖

2007年8月16日 15:52頃

薩摩富士と呼ばれる名山、開聞岳は海から見るとまた格別に美しく見えます。鹿児島港から旅に出る時は、この開聞岳が九州との別れ。良い旅を…と開聞岳に見送られ、今から始まる旅に胸が高まります。そして旅の終わりには再び開聞岳が出迎えてくれます。ここまで来ると、帰ってきたなあ、いよいよこれで旅も終わりかあと、鹿児島港までの海を見つめながら、しみじみと楽しかった旅の思い出に更けるのです…

6. 撮影者

広島市南区 田中 理絵



No. 5 0

『タイミング』

1. 乗下船場所
2. 会社名・船名
3. 撮影ポイント
4. 撮影日・時間
5. コメント

那覇ふ頭3号

（有）ウエストマリン・モビーディックら

那覇港内

2007年5月27日 19:05頃

那覇一文字防波堤と船と飛行機と夕日を携帯電話と双眼鏡のコラボで撮ってみました。自分でも満足のいく一枚です。

6. 撮影者

沖縄県那覇市 山内 勤